



ふるさとの会

「低所得・低資産高齢者の住まい・生活支援」資料



社会使命

認知症になっても

がんになっても

障害があっても

家族や金がなくても

地域で孤立せず

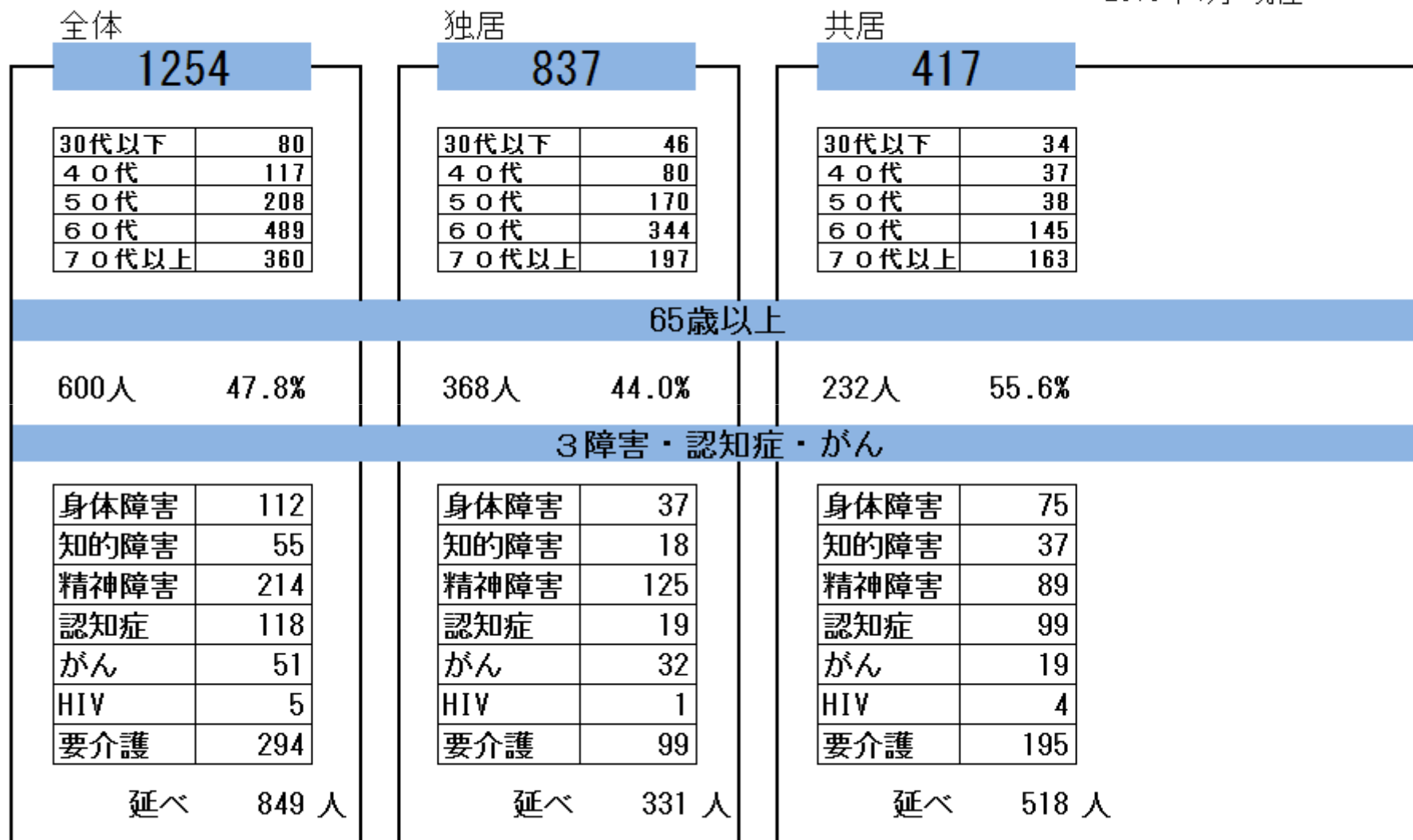
最期まで暮らせるように

現在の支援対象者

四重苦※を抱える人

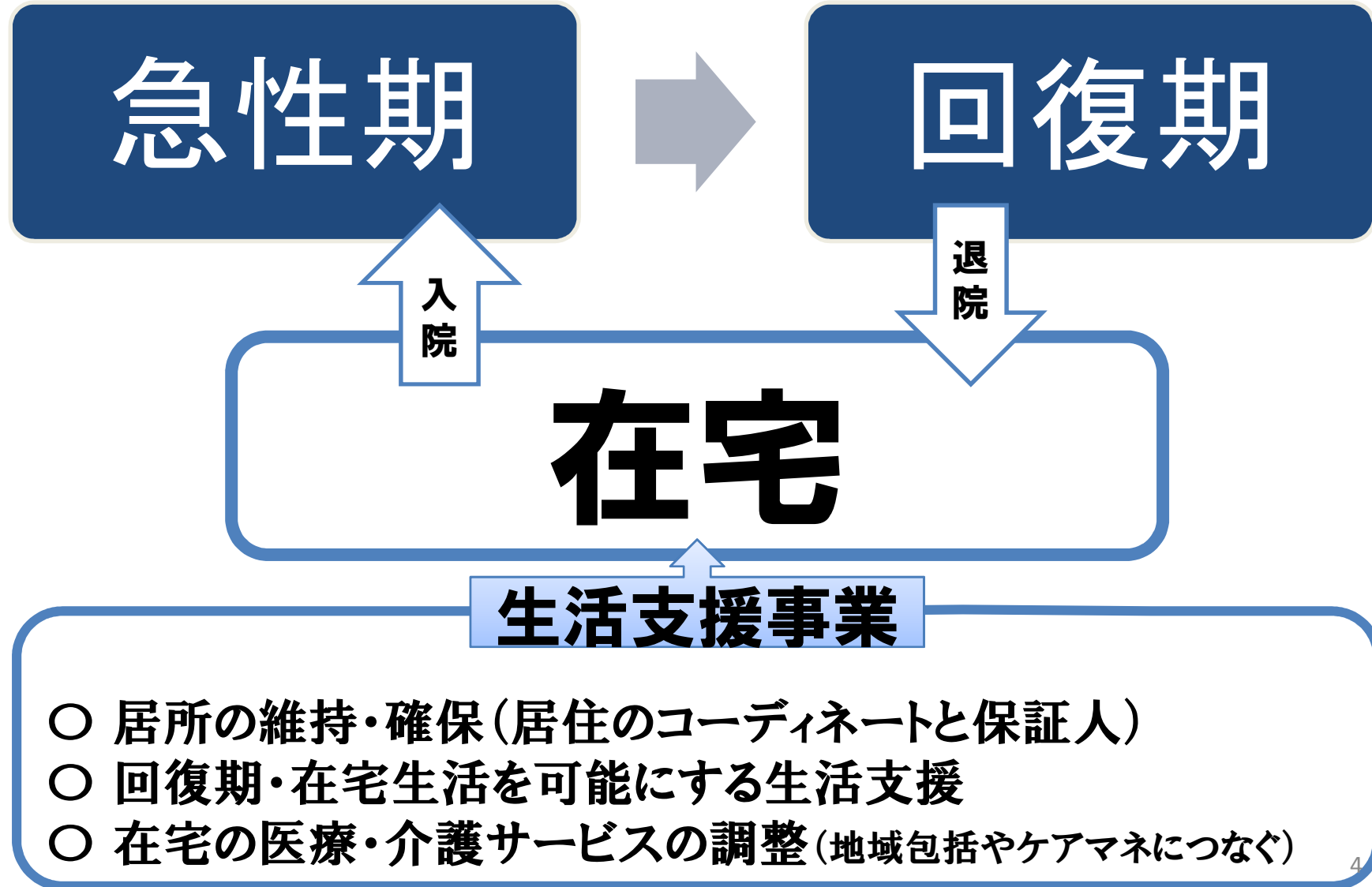
122 人

2013年4月 現在



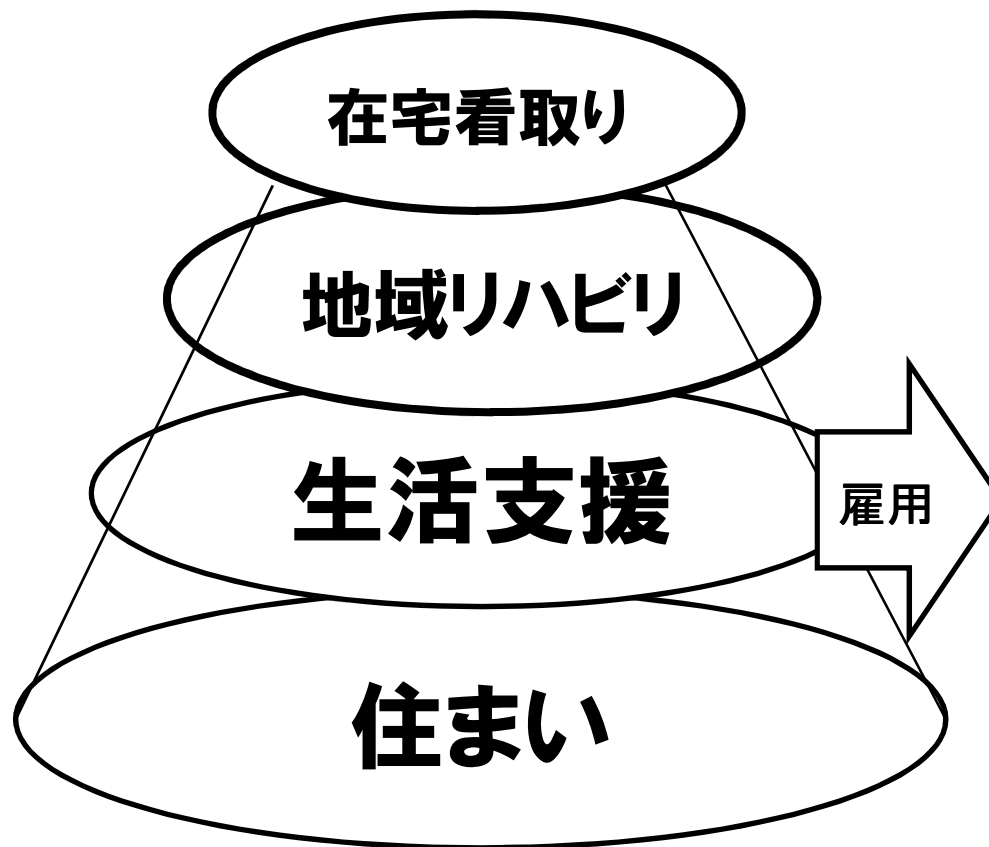
※「四重苦」とは、要介護高齢（65歳以上）でかつ精神障害、知的障害、認知症、がんのいずれかを抱えている状態を指します。
平成23年10月までの統計では、高齢（60歳以上）で、要介護、精神障害、知的障害、認知症、がんのいずれかを抱える状態としていました。

医療制度改革と生活支援事業



支援の構造と雇用創出

利用者数 **1,254名** (H25.4月現在)



271名の雇用創出

うち **117名** (被保護者等)
重篤な就労阻害要因を抱える被保護者等へ
「ケア付き就労プログラム」実施

最低賃金を超える850円/h以上を給与
一般就労としての雇用体系
(常勤77名 非常勤194名)

平均月収 **7万4,700円**
(H23年度ケア付き就労調査)

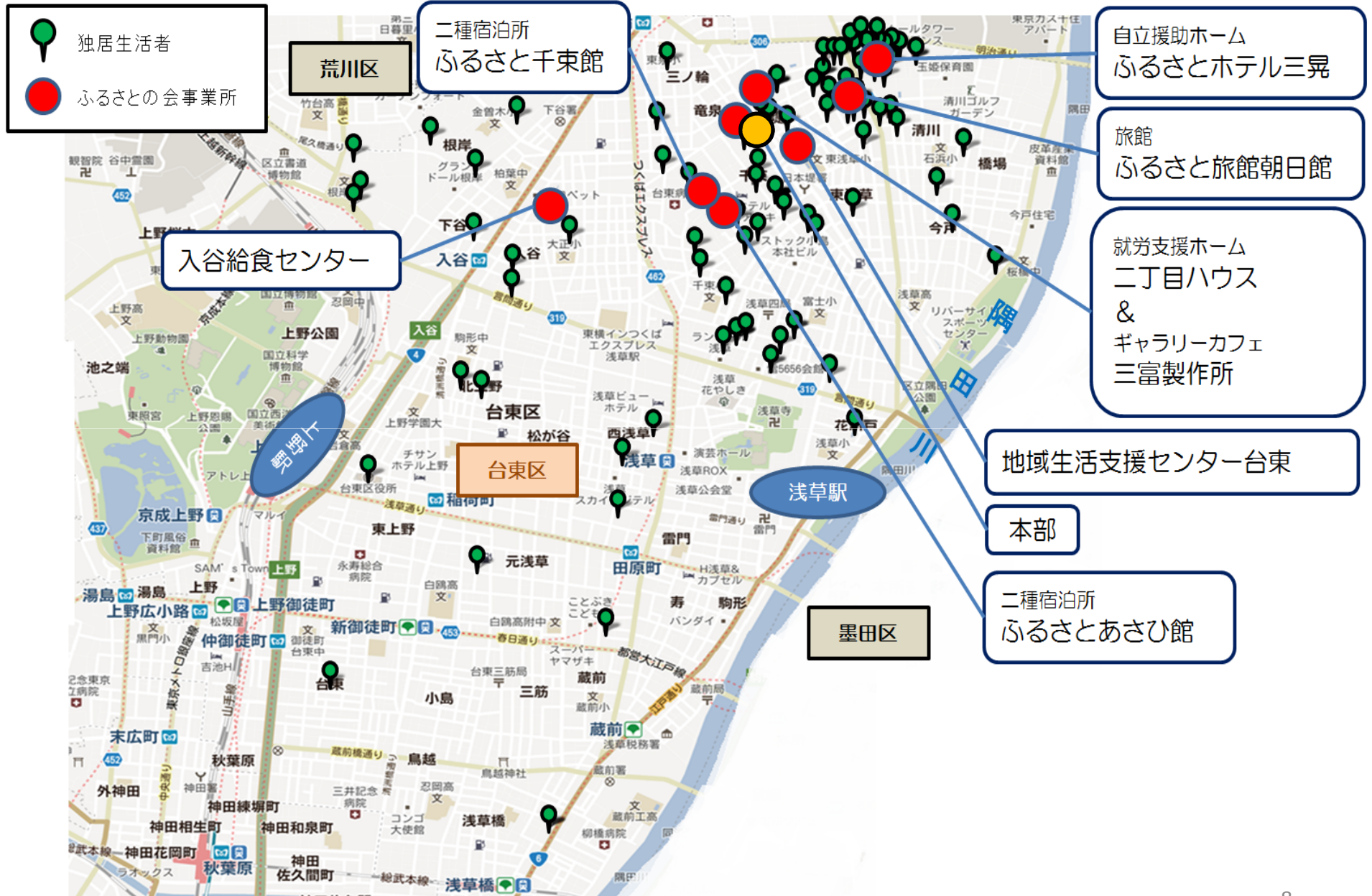
～生活支援を地域に埋め込む～
生活支援事業【ふるさと版】

- (1) 支援拠点** 居場所と相談窓口
- (2) 居住支援** 既存ストックの活用
- (3) 生活支援** 巡回型相談・訪問
生活の互助づくり(→就労の場づくり)
地域包括ケアシステムとの連携
- (4) アウトリーチ** 孤立した生活困難者の発見
- (5) コミュニティ** 居場所と地域づくりの互助

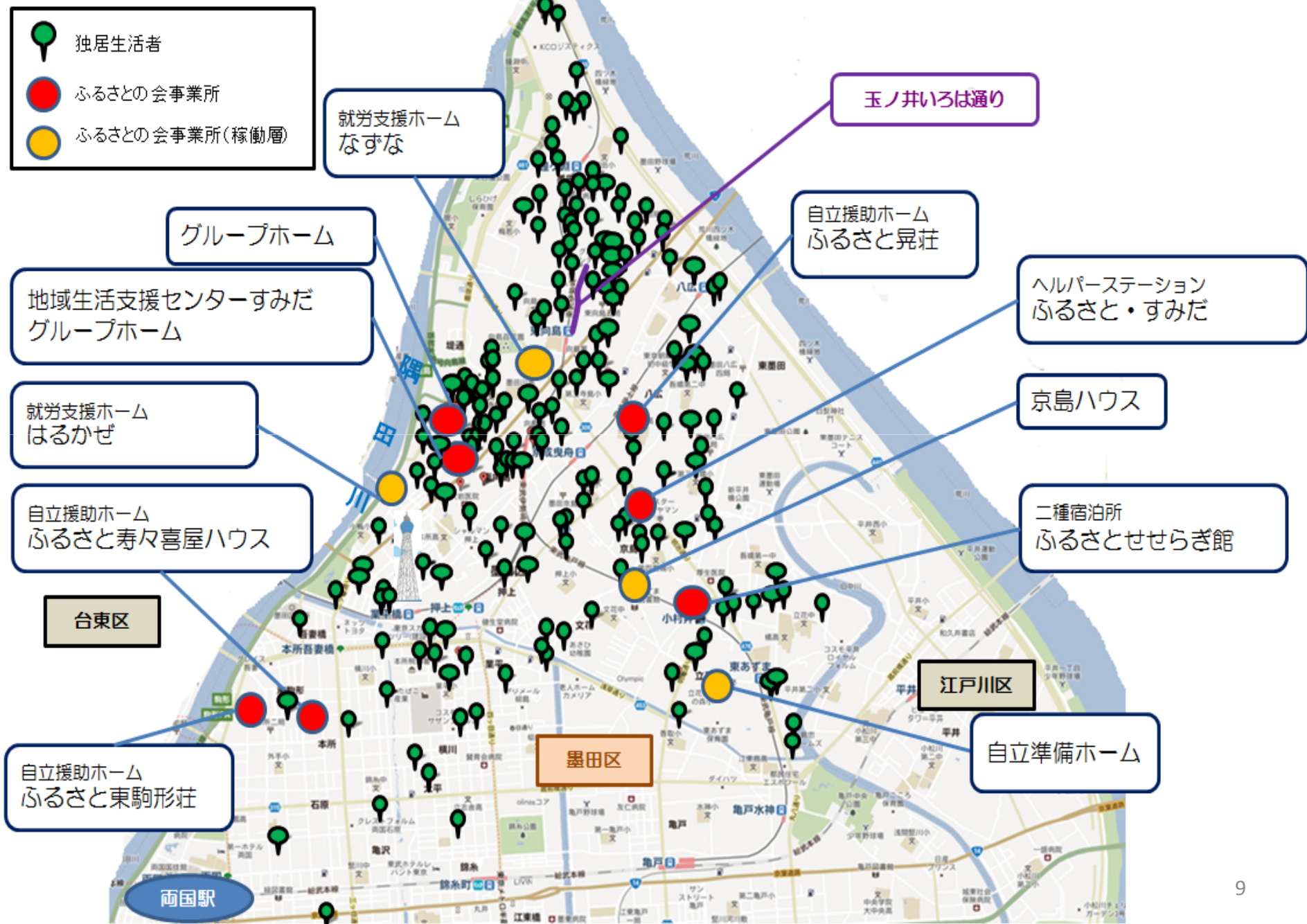
目的は「互助」づくり

今，居るところを支援付きに

台東区における支援状況



墨田区における支援状況



大久保地域の「互助タウン」化に向けて

新宿サポートセンター

グループハウス
(互助ハウス)

シェルター(4か所)

シェルター(アーバンス
テージ大久保)

ラパン新宿
ふるさとホーム
(グループホーム・ケアホーム)

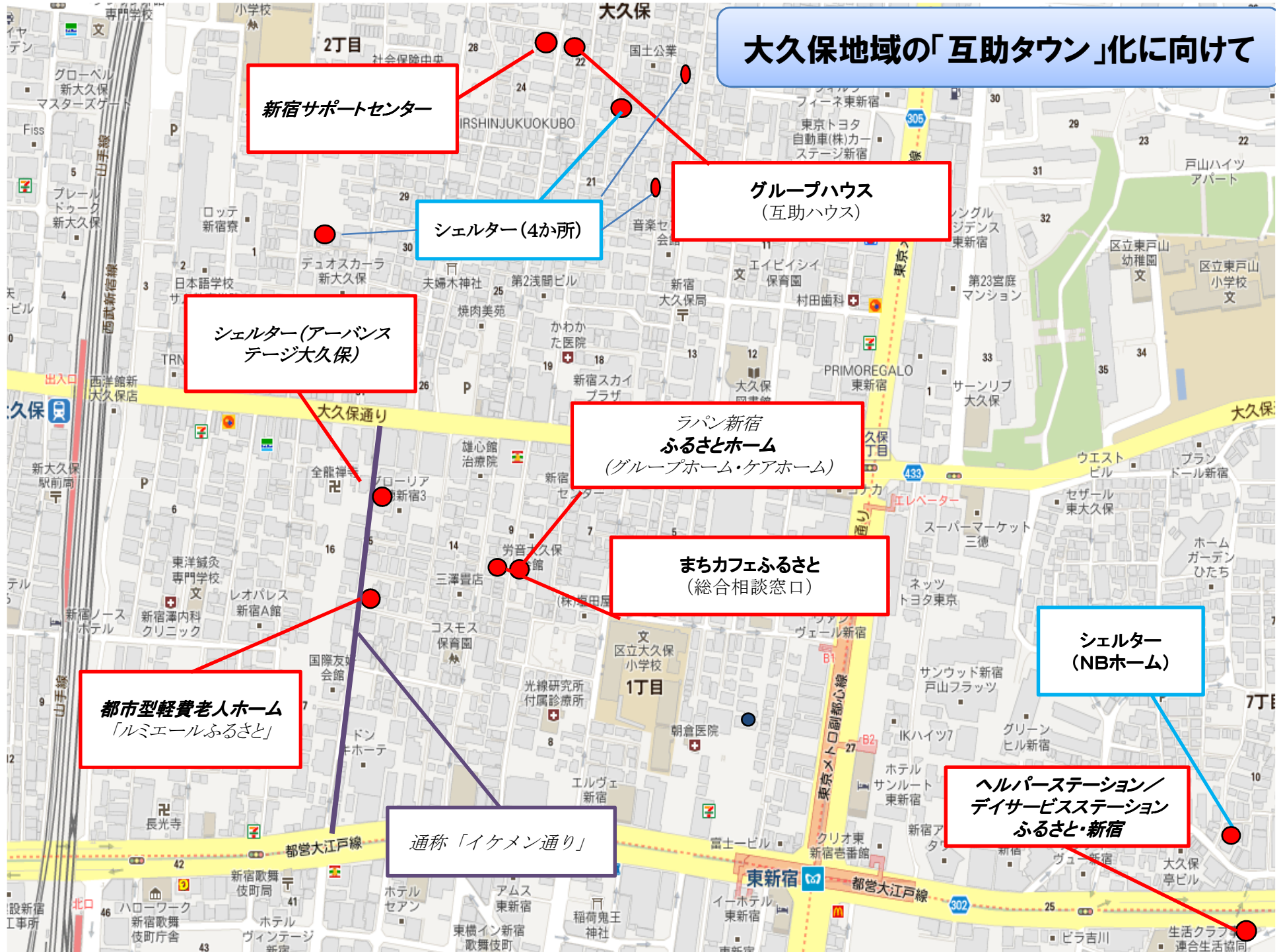
まちカフェふるさと
(総合相談窓口)

都市型軽費老人ホーム
「ルミエールふるさと」

シェルター
(NBホーム)

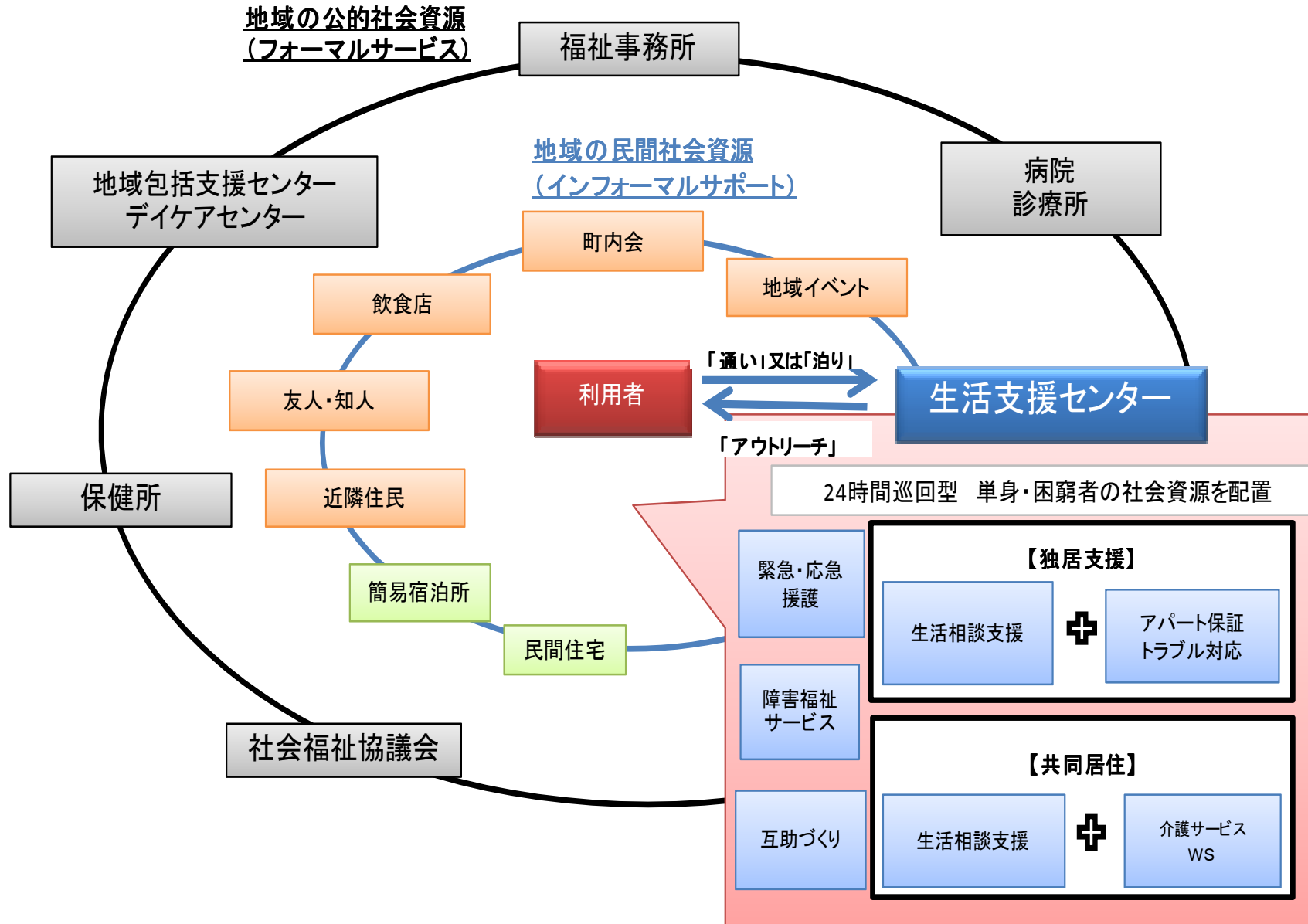
ヘルパーステーション/
デイサービスステーション
ふるさと・新宿

通称「イケメン通り」



ふるさとの会の取り組みについて

～生活困窮(高齢)者に対する居住と居場所(就労、社会参加含む)の確保を支援～



～誰でも気軽に立ち寄れる どんな相談もできる～

まちカフェふるさと OPEN!

木のぬくもりに囲まれたカフェで、
おいしいコーヒーを飲みに来ませんか？



コーヒーサービス無料!

どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

(独)福祉医療機構より補助金を受けて運営しています)



営業時間：11:00～15:00

営業日：月・火・木・金(祝日は除く)

住所：新宿区大久保1-10-22平田ビル1F

(JR山手線・新大久保駅、都営大江戸線・東新宿駅から徒歩10分)

TEL：03-6205-5528 FAX：03-6205-5529

E-Mail：info-machicafe@hurusatonokai.jp

「看取りのできる互助ハウス」モデル事業プラン

入居者がお互い助け合いながら暮らす戸建てないしは、ファミリータイプマンション。家族間介護をしている世帯の「セカンド・ハウス」にも利用される。

定期的、緊急時に生活支援職員が訪問
医療、訪問看護・介護等の在宅サービスを導入

悉皆調査→物件抽出→家主交渉(相続相談等)
→リフォーム・バリアフリー→入居



戸建住宅

(例) NPOによるマスターリース契約



マンション

3LDK 70m²モデル

<まちカフェ＋互助ハウス>

まちカフェ

居場所・相談窓口

互助ハウス

孤立せず最期まで

居住・生活支援

24時間巡回相談・訪問